

2023年12月19日 第4回ゲストインタビューを終えて

今回は株式会社地域法人無茶々園の天津清次さんにオンラインという形でお話を伺いました。事前質問に触れつつお話しいただく時間を最初に設けていただき、事前調べの段階よりもより詳しく理解を深めることができました。持続可能な農業を目指しなるべく強い農薬を使わないよう試行錯誤したり、農業分野は中々人手が足りない中で新規就農者や県外、国外からの人材集めに注力されたりしています。また、愛媛県での農業だけにとどまらず、福祉分野への進出や海外との連携などにも積極的に挑戦されています。

福祉分野では自立支援などを行い、単なる農業者組織だけでなく地域組織としての役割も担っています。もちろん他分野への進出というのは投資リスクも伴う中で、そのリスクを背負わなければ経営が困難になるリスクがあるとおっしゃっていて、まさに経営は「リスクなくして得るものなし」という言葉がぴったりだと感じました。

また農業というのは今まで競争にさらされ、倒産に遭った農家もあつたり、大量生産をすることにより価格が暴落するなど、市場の原理だから仕方がないけれどそういった弊害を被ってきたそうです。そのような中で農薬をあまり使っていない食材を食べたい消費者、そしてそれに応えたい生産者の思いもあり、持続可能な農業を目指しています。我々消費者としてもやはり自国の生産物を積極的に食べたり、計画的に食べたりすることが大切だと学びました。

また積極的に外国からの労働力を取り入れたり海外進出されたりしている無茶々園は、労働者との対等な関係性を意識しているそうです。搾取的な雇い方ではなく、労働力を活かして利益を出しつつ、その利益をしっかりと還元する仕組みにしているそうです。

今回のインタビューを通し農業分野で奮闘し続ける方の熱い気持ち、そして日々変化する社会で様々な事業に挑戦する方達の覚悟や決意に心を打たれました。お金や利益だけではなく、やりがいや人との繋がりを大切にする働き方の魅力も感じ、私たちの職業選択ということにも影響があったと思います。普段東京に住んでいたり通学したりしている私たちにはあまり馴染みのない、また違った地方の魅力を感じることもできました。一消費者として、そして一学生として今回学んだことを活かしていけたらと思います。